

# TOEFL ITP®テスト概要

50年以上にわたり世界で最も広く受け入れられている、国際基準の英語能力測定試験「TOEFL®テスト」  
そのペーパー版の過去問題を再構成した団体向けテストプログラム

## TOEFL®テストとは

TOEFLテスト(Test of English as a Foreign Language)は英語を母語としない人の英語能力を測るテストとしてアメリカのETSが作成しています。受験者数は世界でこれまでに延べ3,500万人以上、世界150か国、11,000以上の大学・機関がTOEFLテストスコアを活用しています。TOEFLテストは現在の英語能力を合否判定ではなくスコアで表します。主に北米の大学・大学院に入学を希望する際に、英語力の証明として必須であり、日本国内でも単位認定、大学・大学院入試、海外派遣選考、国家公務員採用試験など様々な方面での利用が増加しています。

TOEFL iBT®テスト Internet Based Test	TOEFL® PBTテスト* Paper Based Test	TOEFL ITP®テスト Institutional Testing Program
コンピュータによる受験 現在の日本における公式TOEFLテスト	マークシート形式での受験 2017年7月まで国・地域を限定して実施されていた公式TOEFLテスト*	TOEFLテストの団体向けプログラム マークシート又はオンライン形式での受験 オンラインの場合、自宅での受験も可能
Reading, Listening, Speaking, Writingの4セクション	Listening, Structure, Readingの 3セクション + Writing	TOEFL PBTテストと同じListening, Structure, Readingの3セクション
スコアは0-120で表示	スコアは310-677で表示。Writingは トータルスコアと別に1-6で表示	スコアはTOEFL PBTテストと同様に 310-677で表示

※各TOEFLテストのスコアは相関関係があります(例: TOEFL iBT 61 = TOEFL PBT 500 = TOEFL ITP 500)

\*2017年10月以降、インターネットが使用できない地域限定で、TOEFL PBTテストに代わり「改訂版TOEFL®ペーパー版テスト (The revised TOEFL® Paper-delivered Test)」が実施されています。

改訂版TOEFLペーパー版テスト: [www.ets.org/jp/toefl/rpdt/about](http://www.ets.org/jp/toefl/rpdt/about)

## TOEFL ITP®テストの特徴

- ◆ TOEFL PBTテスト(ペーパー版TOEFLテスト)の過去問題を再構成しているため、TOEFLテストと高い相関関係を持ち、受験者の英語力を客観的に判断
- ◆ 日本では年間約22万人以上が受験、500以上の団体で活用
- ◆ 項目応答理論(IRT)に基づいて作成され、英語力の継続的な測定が可能
- ◆ TOEFL iBTテストの約6~7分の1の低料金
- ◆ アメリカ国内外を問わず世界中の教育機関で利用  
日本では、大学、大学院、高等学校、官公庁などアカデミックな英語力を測る必要のある教育機関等において多数利用



## TOEFL®テストを受験する「意義」

TOEFLテストは、英語圏の高等教育機関で教育を受けるだけの英語力があるかどうかを測定することが目的で開発されたテストであるため、欧米での基本となるCritical Thinking(批判的/論理的思考)に基づいた論理的な展開、考え方で構成されています。グローバルビジネスの場での交渉・商談や、世界的研究成果の発表・論文作成といったアカデミックな場でも、そのような考え方は英語を活用するための根本となっています。そのため、TOEFLテストは世界を見据えている生徒、学生にとって“入り口”のテストと言ってもよいでしょう。具体的な留学の予定がなかったとしても、TOEFLテストを通じてこのような世界基準の論理的な展開、考え方を学び理解し実践していくこと自体、学習者にとっての意義となります。

## 構成・時間配分・問題数・スコア

	セクション	時間	問題数	内容
L e v e l 1	Section 1 Listening Comprehension	約35分	50問	北米で話されている標準的な英語を聞き取り、理解力を測定。Part Aでは 2人の話し手の会話、Part BではAより少し長めの会話、Part Cでは短めの話聞き、4つの選択肢から解答を選びます。
	Section 2 Structure and Written Expression	25分	40問	標準的な文章表現や文法の知識を測定。前半は文中の下線部に正しい語句を補い文章を完成させる問題、後半は文章中の誤った表現を選択する問題。
	Section 3 Reading Comprehension	55分	50問	大学の授業で取り上げられるようなトピックを用いて、読解力を測定。様々な学術分野から出題されますが、問題を解くにあたって専門知識を必要とするものではありません。
	<b>TOTAL</b>	<b>約115分</b>	<b>140問</b>	<b>スコア 310-677*</b>

	セクション	時間	問題数	内容
L e v e l 2	Section 1 Listening Comprehension	約22分	30問	北米で話されている標準的な英語を聞き取り、理解力を測定。Part Aは短文、Part Bは2人の話し手の会話、Part Cでは短めの話聞き、4つの選択肢から解答を選びます。
	Section 2 Structure and Written Expression	17分	25問	標準的な文章表現や文法の知識を測定。前半は文中の下線部に正しい語句を補い文章を完成させる問題、後半は文章中の誤った表現を選択する問題。
	Section 3 Reading and Vocabulary	31分	40問	前半は短文の単語問題、後半は大学の授業で取り上げられるようなトピックを用いて、読解力を測定。様々な学術分野から出題されますが、専門知識を必要とするものではありません。
	<b>TOTAL</b>	<b>約70分</b>	<b>95問</b>	<b>スコア 200-500*</b>

※TOEFL ITPテストは、ペーパー版TOEFLテスト（PBT）の過去問題を再構成して使用しているため、そのスコアは他のTOEFLテストと高い相関関係にありません。

## 求められるTOEFL ITP®テストスコア

海外留学（学部レベル）-----TOEFL PBT/ITP 500（TOEFL iBT 61）以上  
 国内大学院進学-----TOEFL PBT/ITP 500（TOEFL iBT 61）以上  
 海外留学（大学院レベル）-----TOEFL PBT/ITP 550（TOEFL iBT 80）以上  
 ビジネスで「役に立つ」ことを目標とするレベル-----TOEFL PBT/ITP 550（TOEFL iBT 80）以上  
 ビジネスの専門分野において標準となるレベル-----TOEFL PBT/ITP 600（TOEFL iBT 100）以上

卒業してからも英語を使っていくことを考え、まずは500（TOEFL iBT 61）を目指してみましょう。

## TOEFL ITP®テスト学習方法

### TOEFL ITP®テスト受験者向けページ



[www.toefl-ibt/toefl-ipt/testtaker/](http://www.toefl-ibt/toefl-ipt/testtaker/)

→「テスト構成」 →「Sample Test Questions」（英語）

テスト内容やスコアの意味、勉強方法などを掲載。  
 サンプル問題にアクセスして、どんな問題か確認してから  
 本番に臨もう！



### TOEFL ITP®テストスコアアップセット

[www.ciee-onlineshop.jp/fs/cieeonlineshop/ipt\\_scoresupset](http://www.ciee-onlineshop.jp/fs/cieeonlineshop/ipt_scoresupset)



TOEFL ITPテスト公式教材セット。  
 自習でのTOEFL ITPテスト受験勉強に最適。  
 TOEFL ITPテストの全てが分かる唯一の公式テキストと、  
 本物の過去問の組み合わせ。  
 2冊で約3セット分の過去問題を体験できる。



# TOEFLテストスコア能力表

※TOEFL ITPテストのスコアはTOEFL PBTテストのスコアにそのまま置き換えることができます。

CEFR	TOEFL iBT 0-120	ガイドライン	必要とされる スコア	TOEFLテストスコアデータ		TOEFL PBT 310-677 ※TOEFL ITP	
				TOEFL iBT 0-120	TOEFL ITP L1 310-677 L2 200-500		
C1 95-627-	100-120	ビジネスや日常生活、大学生活を送る上で不自由なくコミュニケーションができる。テレビやラジオ、会議や講義で普通に話すネイティブスピーカーの言葉も困難なく聞き取れる。ビジネス、生活面、大学の授業等で支障なく様々な文章を読んだり、話を聞いたりすることができ、ネイティブスピーカーと遜色なく議論もできる。またプレゼンテーションも充分に行え、そこでの議論や意見を聞いて、もう一度自分の考えを組み立て直すことも可能。読み手を意識した、正確でわかりやすい論理的文章を書くことができる。米国のトップレベルの大学(院)入学に求められる高度な英語能力を保有している(例:ハーバード、スタンフォード等)。				600-677	
B2 72-543-	79-100	ビジネスや日常生活、大学等の場面で、自分の分野以外に関する事柄も理解することができ、個人差はあるが、相手とジョークを交えつつ、柔軟にコミュニケーションを取ることができる。テレビやラジオ、会議や授業で普通に話すネイティブスピーカーの言葉も聞き取れる。議論や様々な話題にも充分についていけ、質疑応答も可能。様々なトピックに関して、よく構成された正確な文章を書くことができる。		83			550-600
B1 42-460-	61-79	日常生活でのコミュニケーションはほぼ支障はない。ビジネスや大学等の場面では、自分の専門分野であれば、具体的・抽象的なトピックにおいて、技術的な事柄も含め、その要点を十分に理解できる。会議や授業で話題になっていることに対し、相手を見て具体的な例を挙げて自分の考えを説明することができるが、語彙の部分で不足を感じることもある。自分の興味のある題材・話題に関して明確・詳細な文章を書くことができる。		72			500-550
A2 337-	45-61	ビジネス、学校、日常生活において、一般的によく知られた事柄に関しては文面や話の中でその要点をつかみ、自分の考えを発信することも可能。通常の日常生活に支障はない。また自分に興味のあること、知識のあることに関しては、巧拙の差はあるが自分の考えをまとめてプレゼンを行ったり、複雑ではない具体的な文章を書くことができる。			L1 468.54		450-500
	32-45	日常的なこと、仕事に関する簡単な文章を読むことができる。通常の会話で、自分と繋がりが深いもの(家族、買い物、自分の住んでいる所、仕事、専門)に関して、簡単な言葉でコミュニケーションをすることが可能。また、「But」「Because」のような接続詞を使って簡単な文章を書くことができる。			L2 417.43		400-450
	19-32	日常よく使われる表現や基本的なフレーズを用いて、必要最低限のコミュニケーションができる。身近なこと(自己紹介、どこに住んでいるか、自分の知っている人、持ち物等)であれば質問をしたり、答えることもできる。ゆっくり話してもらったり、人の手助けを借りて、相手と意志の疎通が可能。短い文節で単純な文章を書くことができる。				350-400	

・上記のガイドラインはCIEEが作成し、おおよその目安を示したものです。本資料の引用・転載を禁じます。  
 ・TOEFLテスト主催団体である米国ETSは上記のようなガイドラインは作成していません。  
 ・評価は各自の学習状況や、環境によっても異なります。また、各利用団体のカリキュラム等によっても異なる場合があります。  
 ・日本国内外の大学・大学院や機関・団体のガイドラインは各々異なるため、実際に要求されるスコアは各自ご確認ください。  
 ・スコアの有効期限はテスト日より2年間であり、それ以降時間が経過した場合、英語力は変化することをお含みおください。

\*参考  
 ・Test and Score Data Summary for TOEFL iBT® Tests  
 January 2019-December 2019 Test Data  
 ・TOEFL ITPテスト平均点 (April 2018-March 2019) Level 1 / Level 2

## 英語上達への道 ～モデルケース：留学～

TOEFLテストを使って英語を上達させよう！  
 この流れを参考に、留学を目指してください。



TOEFL ITPテストスコアで  
 応募可能な  
 協定校留学へ！

**STEP4 TOEFL iBTテストを受験しよう**  
 公式スコアを手に入れる！

**STEP3 TOEFL iBT® Complete Practice Testを利用しよう**  
 模擬試験でTOEFL iBTテスト受験準備とスコア予測

**STEP2 目標設定をしよう**  
 上記の能力表でTOEFL iBTテストスコアを予想し目標を設定

**STEP1 TOEFL ITPテストを受験しよう**  
 数回受験して実力を知り、TOEFLテストに慣れる。まずは目標500！



\* TOEFL ITPテストとTOEFL iBTテストの違いについては、1ページ参照。  
 \* TOEFL iBT® Complete Practice Testとは、自宅のできるスコアも出るTOEFL iBTテストのオンライン模試。出題形式も画面表示も操作も本番同様。CIEEのTOEFLテスト公式教材ショップにて販売中。

## CIEE (TOEFL®テスト日本事務局) Webサイト

www.toefl-ibt.jp

CIEEのWebサイトでは、TOEFL iBTテストに関する基本的な情報（テスト概要・申込方法、スコア確認方法、身分証明書に関する注意事項等）や一般的な質問のほか、受験準備、スキルアップセミナー・英語教員向けワークショップの開催等の情報を日本語で掲載しています。



## TOEFL®テスト公式教材ショップ

www.ciee-onlineshop.jp

TOEFL iBTテストの過去問題で構成されている模擬テスト「TOEFL iBT® Complete Practice Test」を日本で唯一ご購入いただけるショップです。その他、ETS公認のTOEFL iBTテスト準備教材、TOEFL ITPテスト公式問題集を販売しています。



## CIEE Webマガジン (TOEFL® Web Magazine / CIEE CLUB)

TOEFL. Web Magazine

www.cieej.or.jp/toefl/webmagazine

TOEFL®テスト最新情報 英語学習に役立つマガジン

「TOEFLテスト受験者・英語学習者のサポート」をテーマに、英語を生かしグローバルに活躍したい方々に向けて情報発信。メインコンテンツは、TOEFL iBTテスト受験者や英語学習者に役立つ情報全16コーナー。毎月1回更新。



Twitterでも情報

@TOEFL\_mag



## LINE@ (@toefl / @ciee)

Webマガジン最新記事やお役立ち情報をいち早くスマートフォンへお届け。英語力と海外体験によって得られるグローバルなスキルと経験を後押しします。

@toefl

— TOEFL®テスト日本事務局公式アカウント —

TOEFL® Web Magazineに加え、TOEFLテストに関する最新情報、イベント・セミナー情報、英語学習の参考になる情報など、英語を生かしグローバルに活躍したい方々に向けて配信。



## お問合せ先

TOEFL ITPテストは団体対象のテストプログラムのため、個人または個人の集まりでのお申込み・受験はできません。また、受験者個人の方からの お問合せにもお答えすることができません。TOEFL ITPテスト実施状況や予定については所属する団体（大学、高校、企業など）にお問合せください。

留学・海外研修 → 国際交流センター、国際交流課、英語の教員など

資格試験 → 生協、キャリアセンター、エクステンションセンターなど

## 一般社団法人 CIEE国際教育交換協議会

CIEEは1947年にアメリカで設立された非営利法人です。現在メイン州ポートランドに本部を置き、学生、社会人、教員を対象とした様々な国際交流プログラムを開発・運営しています。日本代表部は1965年東京に開設されて以来、日本の国際交流の草分けとして様々な国際交流プログラムを運営し、これまでに7万人がCIEEのプログラムに参加しています。また、1981年以降米国Educational Testing Service (ETS) の委託を受け、TOEFL®テスト日本事務局としてTOEFL®テスト広報活動、TOEFL ITP®テストの運営、Criterion®をはじめとするETS公式プロダクトの普及促進活動などを行っています。CIEE日本代表部は2018年9月から「一般社団法人 CIEE国際教育交換協議会」となりました。なお英語表記は「CIEE Japan」です。

ETSロゴ、TOEFL、TOEFL iBT、TOEFL ITPおよびCriterionはエデュケーション・テストング・サービス(ETS)の登録商標であり、CIEE JapanはETSの許諾の下に使用しています。



[TOEFL®テスト日本事務局] 一般社団法人 CIEE国際教育交換協議会

2021.04